

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成29年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成29年10月26日(木)		
開催場所	小金井市役所第2庁舎 801会議室		
出席者	委員	<出席者：13名> 岡山会長・溝入副会長・石田委員・北澤委員・杉本委員・山田委員・吉田委員・黒須委員・齋藤委員・多田委員・波多野委員・林委員・岸野委員 <欠席者：2名>	
	事務局	小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・冨田・高田・信岡・佐藤・玉井・鴨下・伊藤	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 委嘱状の伝達 平成30年度一般廃棄物処理計画の策定について(諮問) 会議録の確認について 会長及び副会長の選任について 平成30年度ごみ・リサイクルカレンダーの表紙絵応募作品審査 2 報 告 燃やすごみ処理量の昨年度との月別比較について 平成29年度可燃ごみ処理の支援状況について 平成28年度施策の実績報告について 専門委員会(未活用資源(可燃ごみに含まれる資源化可能物)の有効利用方策の調査・研究に関する小委員会)第3回、第4回及び第5回の報告について (仮称)3市ごみ減量市民会議について 3 議 題 清掃関連施設整備基本計画検討会議について 平成30年度一般廃棄物処理計画について(審議) 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

岡山会長職務代理者	<p>只今より平成29年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>本日は、清水委員から欠席の連絡が入っている。</p> <p>それでは、西岡市長から委員の委嘱及び平成30年度一般廃棄物処理計画の諮問を受けたいと思う。</p>
玉井減量推進係主任	<p>委嘱と諮問に入る前に市長よりご挨拶申し上げます。</p>
西岡市長	<p>本日は、お忙しいところ平成29年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会にご出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>また、この後、委嘱状を伝達するが、溝入委員には、本市の審議会委員を快くお受けいただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>小金井市の可燃ごみは、平成19年3月末をもって二枚橋焼却場の全ての焼却炉の運転を停止して以降、平成19年4月から多摩地域の多くの団体のご支援により処理をお願いしているところある。市政最重要課題の可燃ごみの処理については、新可燃ごみ処理施設の平成32年度の本格稼働をめざして、日野市のご理解のもとに、国分寺市とともに3市で事業を進めている。小金井市として、今後も与えられた責任を誠実に果たすべく、全力を尽くしていく。</p> <p>この間の市民の皆様のご尽力により、可燃ごみ処理量は減少してきており、市民の皆様の不断の努力に敬意を表するとともに、感謝申し上げます。そして、審議会委員の皆様におかれても、この間のご活躍に感謝するとともに、今回諮問させていただく「平成30年度小金井市一般廃棄物処理計画」について、専門的な知識あるいは市民感覚を活かし、積極的にご議論いただき、建設的なご意見を賜りますようお願いし、挨拶とさせていただきます。</p>
玉井減量推進係主任	<p>続いて委嘱状の伝達を行う。</p> <p>(委嘱状伝達・溝入委員挨拶)</p>
玉井減量推進係主任	<p>続いて「平成30年度小金井市一般廃棄物処理計画」の諮問を行う。</p>

(審議過程) 主な発言等

小野ごみ対策課長	(諮問) 市長は別の公務のため、ここで退席させて頂く。
岡山会長職務代理者	(市長退席) それでは、事務局から配布資料について確認をお願いしたい。
小野ごみ対策課長	(配布資料確認)
岡山会長職務代理者	配布資料に不足はない。 それでは、前回の会議録について、意見・修正等があれば発言していただきたい。特にないようなので、事務局にて公開手続きに入る。 本日は、溝入委員が入られて初めての審議会なので委員の皆さんに簡単に自己紹介をお願いしたい。
岡山会長職務代理者	(委員自己紹介) では次に、審議会会長及び副会長の選出に進む。小金井市廃棄物減量等推進審議会規則第3条第2項の規定により、委員の互選によって定めることになっている。互選の方法は指名推薦によることよろしいか。
岡山会長職務代理者	(承認) それでは、挙手にて推薦をお願いしたい。
波多野委員	岡山先生を会長に推薦したい。
岡山会長職務代理者	他にいないようであれば、私がお受けする。よろしいか。 (承認)

(審議過程) 主な発言等

小野ごみ対策課長	それでは、只今選出された岡山会長に挨拶を頂きたい。
岡山会長	会長として、今後も引き続きよろしく願います。平成32年まで、小金井市は色々と大変である。これから毎年の計画を策定し、その実績評価をすることになるが、ご協力願います。 それでは次に副会長の互選について、挙手にてご推薦をお願いしたい。
多田委員	溝入委員をお願いしたい。
岡山会長	他にいらっしゃらないようであれば、溝入先生をお願いしたい。  (承認)
溝入副会長	それでは、お引き受けする。期間が短いため申し訳ない思いますが、岡山会長はとても前向きな方であり、できる限り支えて行きたい。皆様にもご協力願います。
岡山会長	先ほど、市長から実施計画の諮問を受けたので、後ほど審議に入る。まずは次第のとおり、平成30年度ごみ・リサイクルカレンダー表紙絵の応募作品の審査に入る。事務局から説明をお願いする。
高田清掃係長	(平成30年度ごみ・リサイクルカレンダーの表紙絵選考)
岡山会長	それでは次に、事務局から配布資料について報告と説明をお願いする。
玉井減量推進係主任	(「燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について」説明)
佐藤ごみ処理施設担当専任主査	(「平成29年度可燃ごみ処理の支援状況について」説明)

(審議過程) 主な発言等

玉井減量推進係主任	(「平成28年度施策の実績報告」説明)
岡山会長	(「可燃ごみに含まれる資源化可能物の調査・研究に関する小委員会 第3回、第4回及び第5回」報告)
小野ごみ対策課長	(「(仮称)3市ごみ減量推進会議」説明) 平成32年度の本格稼働を目指して、3市で共同処理を進めているところであるが、それに先立ち、3市で市民会議を立ち上げようということになっている。課長レベルのごみ減量推進会議を開催し、その中で、市民会議の所掌事務、進め方、委員の選任などを協議している。市民会議は平成30年度から立ち上げる予定である。 今年の10月、11月、12月の3回開催される課長会議の中に、3市のごみ減量推進審議会の委員の中からそれぞれ市民の方にお越しいただき、意見を聞いたほうが良いのではないかとということになり、市民を交えた第1回目の課長会議が今週の月曜日に開催された。本来であれば事前に審議会に諮り選任されるべきであったが、その暇がなかったため、現会長の岡山先生にご相談させていただき、波多野委員と林委員の2人を選任し、参加していただいた。 今後、ごみ減量推進会議の中で、市民会議にどういった人を呼んで、どういったことを所掌事務にするか、今後議論をし、12月末までには決めていきたい。その後に市長間で協定を結び、来年度から市民会議が立ち上がるということで計画している。以上、報告である。
岡山会長	報告事項は以上であるが、何かあるか。 それでは、議題に入る。一つ目の清掃関連施設整備基本計画検討会議の報告と合わせて、計画素案に掲載する項目のうち、廃棄物減量等推進審議会の所管事項があるので、事務局から報告と説明を求める。
小野ごみ対策課長	本日机上に配布した第7回の清掃関連施設整備基本計画検討会議資料をご覧頂きたい。本計画は、今年度中に策定を予定しており、現在、2つの候補地の市民の方との協議会を立ち上げ、その中でご理解いただけるよう慎重且つ丁

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>寧に説明をさせていただいている。現時点において合意には至っておらず、引き続き説明を続け、合意いただけるよう努めていく。</p> <p>基本計画の素案について、9月26日の検討会議でお示しをした。このうち、廃棄物減量等推進審議会の所管になる部分について、本日議題として提案させていただく。</p> <p>所管事項として、1点目、処理対象物について、今回は不燃・粗大系、資源物系について整備の方針を素案として作成している。</p> <p>2点目の対象ごみ処理量・施設規模について、目標計画年次の設定方法に従い、「小金井市一般廃棄物処理基本計画」に定める計画最終年度平成36年度を目標計画年次とする。同計画中の人口最大値は平成36年度だが、ごみの排出量の最大値は、平成27年度として設定されている。平成28年度推計値に対して大きな乖離が認められず、施設整備に当たって支障はないものと想定される。</p> <p>3点目の清掃関連施設整備の基本方針であるが、両協議会のご要望を踏まえ、検討会議のご意見を伺い必要に応じて修正していく。</p> <p>4点目の処理方式の改善方策について、現在の破袋及び破碎処理を行う施設から、保管及び積替えのみ行う施設への転換の検討が最大の変更点になる。この変更検討は、候補地周辺の協議会にもそのように提案しており、現状では特段のご意見をいただくには至っていない。</p> <p>最後に、計画の策定スケジュールであるが、12月15日から約1か月間パブリックコメントを実施する予定で両協議会に提案をしている。</p> <p>以上が廃棄物減量等推進審議会の所管事項である。ご質問等があればご発言をお願いします。</p> <p>スケジュールをご覧頂くと分かるとおり、検討会議自体は今年度までである。本来であれば、前回の会議で素案を揉まなければならなかったが、時間が全く無く至らなかった。先が長い計画になるが、清掃関連施設としては、不燃・粗大ごみ・資源物の処理量と処理フローが審議会の所掌になる。市は8つの処理施設をどこにどのように作るか、組</p>
------	--

(審議過程) 主な発言等

	<p>み合わせを検討している。2つの土地に、1から8までの処理施設をどのように置こうかという話である。細かい事には踏み込まないが、配置案として設定されていることはお分かりいただけると思う。素案になったときに、不燃ごみについては積替えのみとし、破碎処理を市内で行わないということが書かれている。破碎で大きな面積が必要ないなら、配置からやり直しになるのではないかという懸念がある。</p>
富田減量推進係長	<p>破碎処理の設備を持たない場合は、袋のままストックヤードとして一定量集積するための場所が必要になる。機械は置かないが、現状のような機械を置いた場合にはほぼ近いストックヤード機能は残しておくべきという想定はしている。そのため、必要面積自体に大きな乖離はないと考えているが、設備を設けることに対しての建設費や維持管理費などは積替え保管のみとした方が経費を節減できると考えている。</p>
岡山会長	<p>粗大ごみは、市内で破碎せず外に出すということは、民間業者に委託するということになるのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>現在想定しているのは手解体である。手解体した後に売却できるものは売却し、そうでないものは資源化する。</p>
岡山会長	<p>破碎機は置かないが、解体ヤードは作るということか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>そうだ。今までは金属などを除き全て破碎処理し、民間処理施設で資源化してきた。今後は、不燃ごみの破碎機を持たなくなるため、粗大ごみについては、人の手で解体し、資源化できるもの、売却できるもの、それ以外に分け適切な処理を図る。</p>
林委員	<p>破碎処理をしないという考え方は、何に基づいた考え方なのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>経費削減、維持管理費の削減である。</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>また、二ツ塚最終処分場へ埋立ごみとして搬入していたが、現在、不燃ごみは搬入しておらず民間処理施設で資源化処理している。二ツ塚処分場の延命化のため破碎して、容量を減らす必要性が無くなった。破碎をしなくても民間処理施設で資源化可能であるため、必要性和コスト削減を併せて総合的に勘案した結果、積替え保管のみとする素案をお示しさせていただいている。</p>
多田委員	無料で持って行くのか。
小野ごみ対策課長	運搬費用や処理費用は当然市が負担する。
岡山会長	不燃ごみの破碎選別を積替え保管という文言に入れ替わる。民間企業が受け入れできないとなったときのリスクはないか。
小野ごみ対策課長	リスクに関しては検討会議でも色々な意見が出ており、受入先を現在の2社から増やすことを協議している。
波多野委員	大きいまま持って行っても、細かくして持って行っても変わらないということか。
小野ごみ対策課長	受入先としては変わらない。破碎しないときは運搬の際に容量が大きくなるため、運ぶ回数は増える。
波多野委員	料金も変わらないのか。
富田減量推進係長	長尺物を抜き取るなど事前処理の程度によって業者と協議になるが、容積が増えたことによって運搬回数が増え、運搬費及び処理費が増加しても、機器の維持管理費が掛からないので経費総額は減ると考えている。
杉本委員	破碎して持ち込まなくても、受入業者が処理できる設備があるということか。
小野ごみ対策課長	本計画の策定にあたり業者に相談しており、破碎した方

(審議過程) 主な発言等

岸野委員	が熱効率は高いが、市として破碎せずに持ち込むという計画を立てたとしても、受け入れできないということではないというご意見をいただいている。
小野ごみ対策課長	他の自治体も同じ取扱いか。 前例はある。 現在の中間処理場は初期投資も維持管理費も大きい。経費比較も資料として提出しているので参考にさせていただきたい。
林委員	市が方向を決めれば済む話なのか。それとも何らかのレビューが必要な項目なのか。
小野ごみ対策課長	東京都には相談している。検討会議からご意見をいただくが、何かを決定する会議体ではないため、意見を反映できるものは反映させていく。
岡山会長	破碎するかしないかということは大きな違いである。素案の段階でいきなり破碎しないという話が出た。
小野ごみ対策課長	建設予定地の両協議会とも合意には至っていない。両協議会のご意見を一番大切にしなければならないと思っている。
林委員	破碎がない方が地元が受け入れ易いということはないのか。
富田減量推進係長	中間処理場は破碎施設であるため、受入の懸念材料として、爆発や火災のリスクはそれを行わない施設よりは高い。
杉本委員	現在、騒音の問題などあるのか。
小野ごみ対策課長	今現在、中間処理場で騒音や臭いについての問題はない。
富田減量推進係長	中間処理場は設置から30年を迎える施設であり、以前

(審議過程) 主な発言等

	<p>は臭気対策など現状ほどではなく、周辺住民の方々に様々なご意見をいただき協議を重ねてきた。10年ほど前に大規模改修を実施し、臭気に対する特別な対応なども行い、現在は苦情に繋がるような状況はない。たいへん堅牢な施設を設けており、取り得る最大限の配慮をしている。当然、維持経費もかかっており、今後、同様の規模の破碎設備を設ける場合は一層最新の設備を設けるため、相当に高額な建設費がかかると考えている。</p>
小野ごみ対策課長	<p>今後も審議会には検討会議及び協議会の進捗について都度報告していくので、ご協力お願いする。</p>
岡山会長	<p>次回以降、審議会から私と溝入委員が出席する。 検討会議については以上とする。次に、一般廃棄物処理計画について、事務局から説明をお願いする。</p>
小野ごみ対策課長	<p>例年のとおり、9月末までのごみ排出量を元に、年度末実績の推計を算定して掲載している。推計から、29年度の減量目標の市民1人1日当たりのごみ排出量は368.9gとなり、減量目標4gを達成できる見込みである。</p> <p>平成30年度の減量目標について、1人1日あたりの減量目標は、基本計画の基準年度である平成25年度実績から、10%、40gを減量するため、毎年約4gずつの減量を目標とする考え方を踏襲している。</p> <p>施策の展開についてご説明する。施策表の表記については、前回ご議論いただいた部分のため同様の表記にしている。また、基本計画で定めている施策の展開、計画項目及び取組内容は変更していない。</p> <p>まず、「(1)発生抑制を最優先とした3Rの推進」の部分で、転入者対策について、ごみゼロ化推進員との連携による、さらなる具体的な取組みの検討について記載している。同じく、未活用資源の専門委員会について、2年間の研究結果を基に、より具体的な取組みの検討について記載している。</p> <p>計画項目「1ごみを出さないライフスタイルの推進」の具体的な取組「食品ロス削減に関する調査・研究」を「取</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>組み」に変更している。こちらは、フードドライブを本格実施するもので、月1回の拠点回収を行うことで、目標としている。次に、計画項目「2 リユースの推進」の具体的な取組「リサイクル事業所との連携」については、清掃関連施設再配置の関係から文言を変更し、「リユース事業のあり方の検討」としている。同じ計画項目の「フリーマーケットの支援」について、市民まつり会場でのフリーマーケット実施が困難となるため、項目を削除している。ただし、今後も市内で実施するフリーマーケット、リサイクルバザー等の後援申請があった場合は、適切な審査を行い、後援承認を行う予定である。次に、計画項目「4 資源循環システムの構築」の大型生ごみ処理機について、補助制度開始以降、申請が0件となっており、補助金交付要綱の見直しの検討を新たに取組み項目として記載し、目標を「年1件交付」としている。「枝木・雑草類・落ち葉の回収方法の見直しの検討」については、平成29年度から開始した戸別回収に伴い目標を達成したため削除する。「難再生古紙拠点回収箇所の拡大」については、目標を「拠点回収場所1箇所増設」としている。同じ計画項目の最後に、今年度から開始した「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクトへの参加」を新規に追加している。こちら、携帯電話等の小型家電からオリンピックメダルを製作する取組になり、本市では現在、携帯電話、スマートフォンに限定して拠点回収を行っている。次に、計画項目「5 啓発活動の強化」について、「冊子・くらしの中のごみ減量の改訂」を追加している。この冊子は東京学芸大学との協働により、子ども向け啓発教材として活用している。関連して、ごみ減量キャラクターの活用方法の見直しについても、新たに記載している。計画項目「9 事業活動における3Rの推進」について、具体的な取組の「リサイクル推進協力店認定事業所の拡大」の「拡大」を「推進」に変更し、目標は「新規事業所4件増」としている。「自主回収・自主処理を行う店頭回収事業所の拡大」については、目標を「新規事業所2件増」としている。</p> <p>施策の展開の2以降だが、こちらは、審議会の中でもご意見があった部分であり施策表は文言説明とも重複するこ</p>
--	--

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>とから、表の削除を検討している。施策の展開 2 以降の内容について、まず、施策の展開 2 の計画項目「可燃ごみの共同処理に向けた整備」に、「(仮称) 3 市ごみ減量市民会議の参加」を追加している。</p> <p>施策の展開 3 の計画項目「1 災害発生時の対応に向けた体制整備」の具体的取組として「災害廃棄物処理計画の策定」及び「災害廃棄物処理マニュアルの研究」を載せており、平成 30 年度中策定を予定している。こちらは、本審議会の委員の皆様にもご議論いただくのでご協力をお願いします。その他、更新があった箇所については適宜修正を加えている。施策については以上である。</p> <p>説明は以上である。暇がないため審議は次回以降とする。次回、審議会は 11 月 16 日、木曜日 18 時から 20 時までで開催したい。場所は追って連絡する。</p> <p>それでは、これで閉会とする。</p>
------	---